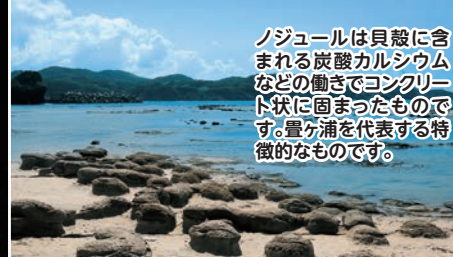




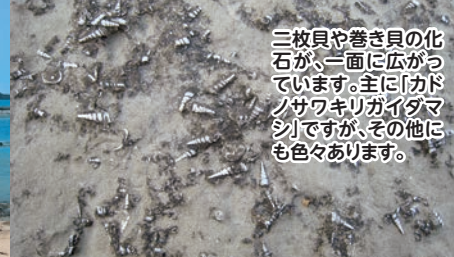
荒波によって削られた、高さ約25mの崖が見えます。



まずはトンネル内にある洞窟へ。この洞窟から見える景色は絶景です。



ノジュールは貝殻に含まれる炭酸カルシウムなどの働きでコンクリート状に固まったものです。豊ヶ浦を代表する特徴的なものです。



三枚貝や巻貝の化石が、一面に広がっています。主に「カドノサワキリガイダマシ」ですが、その他にも色々あります。



流木の化石ですが、それだけではなく、よく見ると管状のものも多くあり、その一つ一つが「フナクイムシ」の巣穴です。

1 たたみが うら いり ぐち かいしよく がい 豊ヶ浦入口・海食崖

2 さい かわら どうくつ 賽の河原洞窟

3 かい か せき ぐん ノジュール・貝の化石群

ぼごぼご石のイスがたくさん! いたるところに貝の化石もたくさんあるよ!

4 りゅう ぼく す あな 流木とフナクイムシの巣穴化石

1,600万年前へタイムトラベル!

国指定天然記念物

いわみ た た み が う ら

石見豊ヶ浦 散策!

見る・触れる 天然の博物館



5 うま せ 馬の背・クジラのおご骨化石

千畳敷には貝化石だけでなく、いろいろな種類の化石が見つかります。その1つにクジラの化石があります。

6 がん みやく 岩脈 普通の岩とどう違うのかな?

マグマが地表近くまで入り込んだ時の跡で、周囲の砂岩とは異なった岩石がみられます。

7 ハッピーシェル 見つけると幸せになれる!?

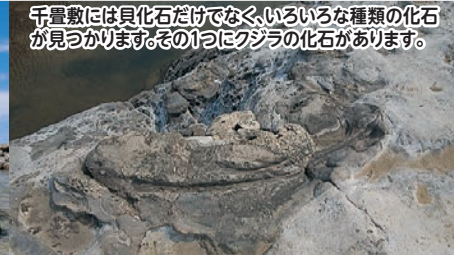
ハートの形をしたかわいい化石で、これは「クムラナミガイ」の断面で千畳敷に点在しています。

8 めがね橋

落差約3mの小断層を観察できます。足元にご注意ください。



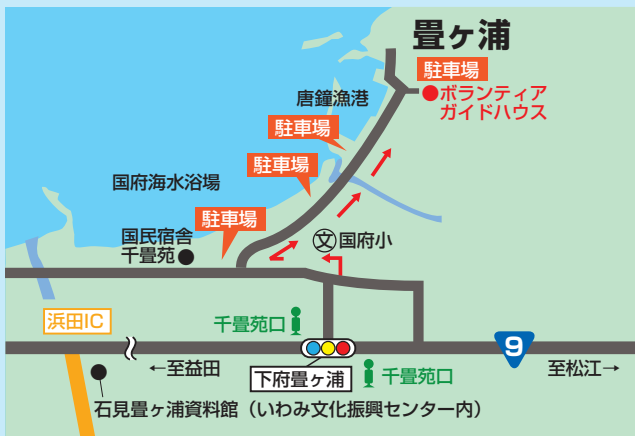
大地が動いて地層が傾きながら隆起したもので、下から円い石の層が顔を出しています。



交通のご案内



周辺地図



石見畳ヶ浦は昭和7年3月25日に
国の天然記念物に指定されています。
化石を探ったりせず、この貴重な財産を大切に保護しましょう。

一般社団法人 浜田市観光協会

〒697-0022 島根県浜田市浅井町 777-35
TEL 0855-24-1085 FAX 0855-24-1081
<https://www.kankou-hamada.org>

おすすめ 石見畳ヶ浦の楽しみ方3選!!

1 鳥根のウユニ塩湖!? 絶景フォトを撮る!



モデルは潮だまりの近くの砂浜に立ってください。

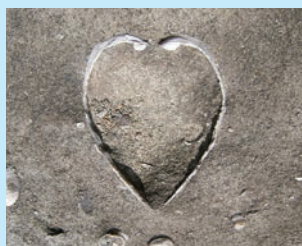


夕暮れ時に満ち潮でできた潮だまりを逆光で撮影すれば、こんなステキな写真も!!

撮影のポイント

- 風のない日の夕暮れ時
- 海辺にある潮だまりを利用
- 姿勢を低くして撮る!

2 ハッピーシェルを3つ探す!♡



ハッピーシェルはノムラナミガイの化石で、千畳敷に点在しています。ハート形をしたかわい化石で、3つ見つけると幸せになれるといわれています。裏面のマップを参考に探してみてください!

3 よ〜く観察! おもしろい岩!海の生き物!



これはイグアナに見える岩!ほかに「鼻」の形や「キノコ」の形の岩などがあります。また、たくさんの潮だまりには、ウニ、カニ、イソギンチャク、小魚など多くの生き物たちを観察することができます。

畳ヶ浦の成り立ち

畳ヶ浦は、2400万年前から1500万年前に起こった日本海の形成と深く関わりながらできました。1600万年前にたい積した畳ヶ浦の地層を見ると、礫岩層の下の砂岩層からは、海水と淡水が混じった沼地に生息する貝や植物の化石が見つかり、礫岩層は、大きな河川の洪水で押し流されてきた土石が、河口にたい積したものです。千畳敷を形作る砂岩層は、本来、礫岩層の上にたい積するもので、海底に生息する多種類の貝や、クジラなどの化石が見られます。これを古い順に当時の環境を考えると、畳ヶ浦は、陸地から海底へと変化しており、日本海が拡大する様子を知ることができます。



▲1600万年前の中国地方

せつり 節理と断層

千畳敷には縦横に走る無数の亀裂があり、これを節理といいます。節理は、大地が動くことによって生じた亀裂と考えられています。千畳敷では、幾つかの断層もみられますので、これらの活動と関連して節理が生じたものと考えられます。



節理



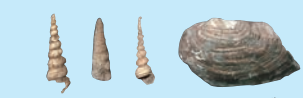
断層

太古の世界にいざなう化石達

畳ヶ浦の砂岩層で見られる貝化石は45種以上ありますが、その大部分が南方系のもので、およそ1600万年前には暖流の影響が強く、常夏のような気候(熱帯・亜熱帯気候)だったと考えられます。



ノムラカガミ シラトリアサリ ワタナベサルボウ



カドノサワキリガイダマシ ノムラナミガイ

石見畳ヶ浦

畳ヶ浦は古くから石見の代表的な名所として和歌にも詠まれてきました。

海に突出した標高約50mの丘陵の先端に位置する畳ヶ浦には、波によって浸食された、高さ約25mの海食崖と呼ばれる切り立った崖と、約49,000㎡に及ぶ波食棚という平らな磯が広がっています。

この広大な波食棚には縦横に規則正しく走る小さな亀裂が見られ、これが畳を敷きつめたように見えることから、「千畳敷」または「床ノ浦」と呼ばれるようになりました。

畳ヶ浦には無数の貝の化石やクジラの化石などを見ることができ、約1600万年前の海の浅瀬の世界に思いをはせることができます。さらに波の浸食によってできた腰掛け状の丸い岩(ノジュール)をはじめ、多くの断層や海食洞を見ることができ、まさに「天然の博物館」といえます。

江戸時代の畳ヶ浦



美しい海岸線をガイドと一緒に歩いてみませんか?

トンネルを抜けると白波の打ち寄せる広い、広〜い海の台地。まるで人類誕生前の時代にタイムスリップしたような気分を味わえます。おもてなしの心で楽しくガイドいたします。

浜田市観光ボランティアガイドの会

案内日 日曜日、祝日(12月~2月、7月、8月は除く)

受付場所 石見畳ヶ浦入口
ボランティアガイドハウス前

料金
無料